

☆一般選抜等入試全般について

① 要項等に明記していただきたい事項

- 「専願・併願可」、「現役・浪人可」、「対象となる課程・科」
- 「合格発表日」・「追加合格の発表日や通知方法」
- 「調査書の発行枚数」※受験日程・制度によって各大学の扱いが異なる。
- 「前期授業料等諸費の猶予期間、相談できる場合の具体的な方法など」
- 「就学場所（キャンパスの所在地）」
- 「前年との変更点」

② 手続き上のお願したい事項

- 振込み手続きが複雑にならないこと。
- 入学手続きの納入金振込期限の延長。
- 前期授業料等（入学金を除くもの）の年度末あるいは入学後の納付。
- 入学確定者に対する卒業証明書・最終調査書の発行。※3月1日以降の提出にしてほしい。
- 既卒者の対応。※学校教育法施行規則第二十八条第二項より、卒業後5年を超えた受験生については、成績や出欠に関する証明書は発行できないので、当該の生徒についての証明書の提出を求める場合には、「卒業証明書のみでよい」、「調査書が発行できない旨の証明書」などと必要とされる書類を選定していただきたい。
- 活動報告書等が必要な場合は、紙媒体と電子媒体の両方を認めていただきたい。

③ 追加合格の対応

- 生徒に経済的な不利益が生じないような配慮。
- 追加合格者があれば、どこに合格したかという情報を4月末までに教えてほしい。

④ 入試全体について

- 人権に配慮した面接。
- 面接での新型コロナウイルス感染に関わる質問はやめてほしい。（例：罹患の有無や休校期間中の学習状況など）
- オンラインでの面接や入試を実施する場合の日程や環境などへの配慮。
- 安易に受験科目数を削減することは控えてほしい。※特に入学後に必要になる科目への配慮。
- 選択科目の平均点の差によって得点調整が行われる場合の情報提供。
- 年内入試（公募制推薦・総合型選抜）後、一般選抜で合格枠が残っていないような状況にならないこと。
- 新カリキュラムでの受験科目・配点などの詳細な情報提供。

☆総合型選抜について

- ① 出願期間・入試日・合格発表日のルール厳守。
 - エントリー(出願)・内定・正式出願などの日程が早くなり、早期の調査書の提出など、高校現場の指導に影響が出ている現状がある。学校推薦型選抜(指定校制)の募集の時期とも重なり、指導が大変複雑になる場合もある。
- ② 入試制度の詳細の明示。
 - (オープンキャンパスが選抜と直結している制度) オープンキャンパスなどで入試のエントリー(出願)をさせる場合は、本人や保護者が納得のいく上でのエントリー(出願)になるように、制度の詳しい説明がほしい。
 - 指導上混乱を招く事例が多く、各大学の制度のわかりやすい情報提供が必要です。
- ③ エントリー時、および出願時の高等学校への通知。
- ④ 事前面談などは、授業日に当たらないこと。
- ⑤ この選抜が多様な受験方式を増やし、指導上多大な労力を要している現状を知ってほしい。
- ⑥ 合格基準・評価の基準を明確にし、アドミッションポリシーに基づいた選考を行ってほしい。
※十分な面接等を行わないで合格しているケースが散見する。

☆学校推薦型選抜について

- ① 出願時期は11月1日以降を守ってほしい。できれば統一してほしい。
- ② 配慮を要する生徒に対する入試当日の対応を柔軟にお願いしたい。
- ③ 推薦書の簡素化をお願いしたい。
※一人の教員が一時期に多数の推薦書を作成する現状を知ってほしい。
- ④ 選考内容の「面接・小論文・口頭試問」の方法、内容等を明記してほしい。
- ⑤ 発表の方法、発表時間や発送日時(インターネット、学内掲示、郵送発送)を明記してほしい。
- ⑥ 受験料の納付期間と出願期間が祝日等の関係で極端に短いことがあるので、留意してほしい。
- ⑦ 出来るだけ早く要項の発表をしていただきたい。
- ⑧ 指定校推薦に関して
 - 他の書類と混同しないように表記の工夫をお願いしたい。
 - 依頼書に、「推薦基準・人数枠・出願期間(必着 or 消印有効)・試験日・合格発表日・手続締切日・選考方法・受験料・割引等の特典・奨学金」を募集要項などに点在させず明記してほしい。
 - 依頼書を統一した書式にしてほしい。※P5の依頼書の例を参照
 - 出願書類の郵送方法「学校一括、学部一括、個人」の明記。
※一括の場合は返信用封筒を用意してほしい。できれば個別出願がありがたい。
 - オープンキャンパスなどで指定校に関する情報を生徒に伝えることは厳禁。

※指定校の情報開示前になることが多く、安易に指定校入試を勧めることにつながるため。

- 指定校推薦の案内をデータで受け取ることも検討してほしい。
- 面接で口頭試問を実施する場合、内容の情報提供（過去の質問でも良い）。
- 指定校推薦で不合格になった場合、時期的にも事後指導が難しいことを知ってほしい。

☆合否通知・合格数の把握について

- ① どの入試でも入試結果は必ず高校に連絡がほしい。
- ② 合否・成績の開示が難しい場合でも、受験者の名前は記載してほしい。
- ③ 追加合格を出す学校も増えているため、最終的な入試結果を送ってもらいたい。
- ④ 入試結果の帳票も大学間で統一のフォーム・形式であれば、高校側としては整理がしやすい。

☆入学前教育（実施日や実施内容など）について

- ① 高等学校の授業日に出席しなければならない取り組みは避け、授業日や行事日に重ならないようにお願いしたい。また、私立高校では土曜日にも授業があるので土曜実施は避けてほしい。
- ② 入学前教育の案内は合格書類に入っていることが多く、入学前教育の有無や内容を事前に把握するために募集要項にも明記してほしい。
- ③ 合格後も学習を継続する意識を持たせる高大連携の取り組みであってほしい。
- ④ 生徒の身体的な条件によって課題がこなせない場合などは、柔軟な対応をお願いしたい。
- ⑤ 入学前教育の内容に関して、生徒の経済的負担が大きくならないでほしい。もし費用負担がある場合には、募集要項に概算でもよいので負担金額を明示してほしい。
- ⑥ E-learning については、生徒が課題を達成するのに十分にパソコンを使えない状況であり、かつ高等学校での対応が困難な場合は、別途課題を課すなど一定の配慮をお願いしたい。
- ⑦ 内容を学力面だけでなく、大学生活に順応できるような内容も入れてもらえればと思います。
- ⑧ 大学へ登校する入学前教育の場合、出欠を必ず報告していただきたい。
- ⑨ 併願可能な公募制で合格し、一時手続きをしている生徒に対して共通テスト直前に入学前課題の提出期限が設定されているケースがあった。生徒の受験計画に支障が出ないように柔軟に対応してほしい。
- ⑩ 生徒・高校に負担がかからないような課題等の内容と日程であるとありがたい。

☆資料等の送付について

- ① 学校案内・入試ガイド・願書などの送付は数部程度にし、追加が必要な場合には申し込み用紙などを入れておいていただくと扱いやすい。チラシなども PDF に加工し、生徒に配付することも可能です。
- ② ポスターはA4サイズが望ましい。ポスターやチラシについては、大きさと枚数はその高等学校の状況に応じて考えていただきたい。
- ③ 送付するものによって、メール便を使うのか、普通郵便を使うのかを考えていただきたい。（メ

ール便は到着までに日数がかかる場合がある。)

- ④ 封筒の表に内容物の簡単な記載をお願いしたい。
- ⑤ 案内等の多数の送付は控えてもらいたい。郵送物の開封や仕分けには時間を要し、重労働になることもある。必要な時に必要なものをデジタル情報・データとして取得できる方法があれば助かる。
- ⑥ 生徒に多くの情報があることがありがたいが、進路指導室や教室への掲示や資料の設置に限界があるため、ある程度の情報については Web にて案内してほしいと思っている。

☆学校訪問について

- ① 学校訪問時のアポイント要望一覧の通り、必要な高校にはアポイントを入れていただきたい。
- ② お越しいただけることに感謝している。学校の情報を直接聞けることは貴重な情報源である。できれば事前連絡をいただければ十分な対応が可能なことや、失礼がないようにできるのでアポイントだけはいただきたい。
- ③ 可能ならば高等学校ごとの担当者を決めてほしい。その場合、担当者が変わってもその学校の状況をしっかりと引き継いでほしい。
- ④ 訪問前に高等学校のホームページをチェックし、基本的なことはつかんでおいてほしい。
- ⑤ 同じ大学の学部ごとに来校されることがあるが、まとめていただけると助かります。様々な情報が得られるのでメリットが大きいものの、校務が多用なため個別対応にも限界があります。
- ⑥ 高等学校の卒業生の在学中の情報を教えてほしい。
- ⑦ 求人票受付の時期など多忙な時期には対応できない場合があることを知っておいてほしい。

☆その他

- ① オープンキャンパスでは、高校の指導を受けて参加している生徒もいるので、そうした意図を汲んだお声かけや説明をお願いしたい。
- ② 土曜日に授業等を実施している高等学校もあります。オープンキャンパスは日曜日にも参加できるようにしていただきたい。
- ③ Web 出願の導入は便利である反面、メールアドレスを持っていない生徒の対応、プリントアウトやその後の確認作業も、学校がほとんどしている現状を知ってほしい。
- ④ 生徒が入試情報を得るためにホームページを頼ることが多くなっている。そのため最新の入試情報などが容易に得られるような、ホームページの構成をお願いしたい。
- ⑤ 出願要件に「欠席日数」の規定がある場合、通信制高等学校への転入学をした生徒は、欠席日数がほとんどと引かかるので、転入学後の頑張りを見てもらえるような規定がほしい。
- ⑥ 入試問題及び解答を PDF で公開していただきたい。
- ⑦ 新課程入試の詳細や結果は早く知らせてほしい。

以上

★指定校制推薦の依頼書（依頼内容のまとめ）を反映した一覧表のイメージ

1. 学部・学科・専攻コースごとの依頼内容

学部・学科等	人数	総評基準	他の評定基準	他の基準	備考
〇〇学部 △△学科	1名	3.5	かつ、国語 3.5以上	3年生1学期までの欠席日数が15日以内であること	—
□□学部 ▲▲学科	2名	3.3	あるいは、外国語（英語） が3.5以上	あるいは、英語検定準2級以上あるいは、TOEIC450点以上	総評4.5以上の場合は、入学金免除
◇◇学部 経済学科	うち	3.4	—	「数学Ⅱ」を履修していること	—
◇◇学部 歴史学科	1名	3.5	—	「日本史B」あるいは「世界史B」を履修していること	—

2. 出願期間 2023年11月1日（水）～2023年11月10日（金） 最終日（**必着**・消印有効）

3. 選考内容 試験日 2023年11月19日（日） 午前10時集合 場所：〇〇大学 ◆◆キャンパス

面接試験	小論文試験	志願理由書	その他
あり 個人面接 10分程度	あり（当日実施） 1500字程度 『〇〇』について	あり（出願時提出） 1200字程度	—

4. 合格発表日 2023年12月5日（火） 郵送にて

5. 手続き期間 1次手続き 2023年12月5日（火）～2023年12月22日（金） 入学金のみ
2次手続き 2024年1月19日（金） 前期授業料・諸会費